

絆を求めて 東北の詩人たち

～石川啄木の没後100年～

○会場 秋田県生涯学習センター
 ○日時 午前10時から午前11時30分まで
 ○受講料 無料
 ○講師 美の国アクティブカレッジ・シニアコーディネーター 北条 常久

回	期日	曜	テーマ	学習内容
①	6/14	木	石川啄木(岩手) 望郷の詩集『一握の砂』	北海道を流浪する啄木は、東北をどんな気持ちで望郷していたのかを学ぶ。
②	7/12	木	土井晩翠(宮城) 叙事詩「荒城の月」	日本の叙事詩の歴史を訪ね、生涯を仙台で過ごした晩翠にとって、東北とは何であったのかを学ぶ。
③	8/9	木	山村暮鳥(福島) 言葉の実験室『聖三稜玻璃』	暮鳥は秋田市を出発点に、横手、湯沢、仙台、いわきを転々とする。各地での詩業を尋ね、東北の絆を理解する。
④	9/6	木	草野心平(福島) かえるの詩人『第百階級』	暮鳥に学び、宮沢賢治を世に出し、いわきの猪狩溝直、三野混沌と連帯し、高村光太郎を師とした。東北の絆を心平から学ぶ。
⑤	10/4	木	宮沢賢治(岩手) 雨ニモ負ケズ『春と修羅』	日本の伝統詩に宇宙感覚を持ち込み、あらゆる生物に本当の幸福をもたらしたいという賢治の「宇宙意志」は東北とどう関わっているか学ぶ。
⑥	11/22	木	真壁仁(山形) 農民詩『街の百姓』	東北の風土に根ざした農村の厳しい現実を詩から学ぶ。真壁仁は紅花の研究者であり、黒川能の紹介者である。
⑦	12/13	木	寺山修司(青森) 「時には母のない子のように」	東北青森から脱出した寺山が、東京で出会った青春論、長編叙事詩『地獄篇』を読み、彼の青春に迫る。
⑧	1/24	木	高木恭造(青森) 方言詩『まるめろ』	津軽弁にこだわって詩を書く。東北における方言と文学について学習する。
⑨	2/21	木	沢木隆子(秋田) 秋田の風土の中に輝く詩情『ROM』	秋田の風土の中に詩魂を発見した沢木隆子の市を学び、秋田の現代詩の出発を学ぶ。
⑩	3/7	木	小坂太郎(秋田) 北の農民詩『北の儀式』	北の秋田に生きる農民の世界を通し、強靱な批判精神で前進する農民文学の神髄を学ぶ。

○申し込み方法 県生涯学習センターに、受講申込書を添えてお申し込みください。電話やFAX、E-mailでのお申し込みも受け付けています。講座の一部分だけを受講する「スポット受講」も可能です。

○問い合わせ・申し込み先 秋田県生涯学習センター 学習推進班 (三浦)
 〒010-0955 秋田市山王中島町1-1
 TEL 018-865-1171 FAX 018-824-1799
 E-mail : sgscen002@mail2.pref.akita.jp



『絆を求めて 東北の詩人たち』受講申込書

フリガナ氏名	住所	〒	TEL
<input type="checkbox"/> 全講座受講	<input type="checkbox"/> スポット受講	<input type="checkbox"/> ① 6/14 <input type="checkbox"/> ② 7/12 <input type="checkbox"/> ③ 8/9 <input type="checkbox"/> ④ 9/6 <input type="checkbox"/> ⑤ 10/4 <input type="checkbox"/> ⑥ 11/22 <input type="checkbox"/> ⑦ 12/13 <input type="checkbox"/> ⑧ 1/24 <input type="checkbox"/> ⑨ 2/21 <input type="checkbox"/> ⑩ 3/7	

※お申し込みの際に得た個人情報、当事業以外の目的で利用しません。